



01 02 民族音楽folkローレで会場を魅了したRUPAYのライブ
 03 子どもたちの元気いっぱいのダンス
 04 生涯学習フェスティバル恒例のよさこいソーラン
 05 06 07 市内で活動する文化団体のステージ発表・体験教室・作品展示
 08 09 10 11 12 おいしいグルメで人々のおなかは満たされました

Camera Report

●第8回生涯学習フェスティバル&文化協会祭
 ●主催/生涯学習フェスティバル実行委員会・文化協会

まちを彩る文化の祭典

ライフステージに応じた生涯学習の推進と日ごろの文化活動の発表の場として、第8回生涯学習フェスティバル&文化協会祭が開催されました。

10 月5日から7日までの3日間、あじさい館で生涯学習フェスティバル&文化協会祭が開催されました。展示に27団体、体験教室に9団体、販売に11団体、発表に25団体などが一堂に集まる文化の祭典となりました。毎年、同フェスティバル実行委員会と文化協会が企画・運営し、文化芸術・生涯学習の分野で市民が主役となり、一年間の活動成果を展示・発表する絶好の場です。会場では演奏や合唱、ダンス、よさこいソーランなどが披露されました。「生涯にわたり学び・学習の活動」を続けることは、生きがいづくりの一つ。皆さんもこの秋、何かを始めましょう。



文化協会加盟団体紹介

雪入山友の会

雪 入山友の会は、平成12年に発足し、現在、会員は13人です。自然講座の支援や自然観察ガイド、野草園の管理、溪流の清掃と遊び場ガイドなど会員それぞれの趣味や特性を生かしながら楽しく活動しています。また、新治小学校での学校森林間伐体験指導や環境科学センターでの竹とんぼづくりなども行っています。さらに、恋瀬川探検隊連絡協議会の構成団体として、企画・運営などに積極的に参加しています。

雪 入ふれあいの里公園、三ツ石森林公園の両公園や豊かな美しい雪入山の自然が皆さんにより親しまれる場となるようこれからも努力していきたいと思います。

市民学芸員 久保田美穂 ☎0299-59-3669

雑記帳

閑居山の松茸

江 戸時代の安永七年(1778年)、志筑を治めていた領主本堂家の「会所日記」に閑居山で松茸や初茸、栗が採れた記録があります。大雨による恋瀬川の氾濫や助六一揆があった年です。『江戸へ継飛脚にて状箱并左の通差遣候閑居山にて取り候 松茸十三本并初茸百五拾本二品にて一籠にいたし差上申候 外に横手殿より願上候 栗貳百差上申候』と記されています。当時の閑居山は松茸が採れる赤松でおおわれていました。しかし、本数が極端に少ないことから、松茸は貴重品だったようです。

古 くから千代田地区は山栗の自生地でした。栗の畑栽培は明治31年、下志筑の長谷川茂造さんが始めたといわれています。今は閑居山の上部は神の林です。赤松は1本もありません。稜線を歩いていて、店売りの神棚用神を採っている人に出会ったことがあります。昔松茸今神ですがその他にも閑居山には魅力がたっぷりです。山の魅力を堪能しに歩いてみませんか。

鈴木 敏信(下稲吉)

文芸ひろば 短歌

詠歌の紹介

千代田短歌会

うす紅の秋海棠に露残し慌しくも驟雨過ぎたり
 祖谷溪の付け替えられしかずら橋落人惚びつゆらゆら渡る
 秋去れば秋海棠は朝には露をたたえてうつむきて咲く
 しづかなる里山に立つ夕虹のかたち崩れてなおみえており

遠藤富重(下稲吉)
 大西 周(稲吉東)
 高橋悦子(下佐谷)
 岡田恭子(牛渡)

投稿作品

遙か見ゆ筑波の山も衣替え夏を呼びしか白雲の浄く
 望月は嵐に吞まれ十六夜は朱色に低く手触に親し

山本福重(大和田)
 渡辺静江(稲吉東)

水無月は母逝きし月くちなしの闇に匂へば悲しみかへる
 湯上りに小さく開けし小窓より秋風の風は涼しさを連れ

飯島ヒロエ(三ツ木)
 名倉観子(下大堤)

▼俳句・短歌の投稿は、秘書広聴課までお願いします